

辞書を写す

高知の坂本龍馬記念館を訪れた折、
龍馬の師勝海舟生誕二百年展が
開催されていた。

順路に従って海舟の足跡をたどると、

興味ある記述に出遭った。若い頃、貧しい
海舟は蘭和辞典を筆写したことがあると
いう。それほど辞書に稀少価値があった時代だ

海舟は何と複製本を二冊作り一冊は自家用
いま一冊は知人に売り勉強と生計の糧に
しようだ。当時の辞書の文字量はわからないが
一年をかけた筆写は大変な手間だったに
違いない。

立派な設備で実に綺麗な記念館を
巡らうちにあら小説を想い出した。

シャーロック・ホームズの、赤毛同盟
それは赤髪の質屋が辞書を写す仕事に
た暮す話だ。

男が筆写してゐる間に強盗は質屋の店と
北中合六セに位置する銀行へ通して地下道
を掘る。辞書を写すのも穴を掘るのも
辛気臭い作業でなせか志水難い作品だ。
あ、その小は私が手で文字を書くことが
とても好きなためだらう。

コナン・ドイルのシャーロック・ホームズ全編が
一冊になった原書を持ってゐる。それを求めた
のは若い頃でもう何十年も前だ。

最近丸善の洋書売り場を訪れた際、自分が持っていたのと同じ赤い表紙のホームズ全集が並んで売っているのを見て驚いた。今日でも同じ装幀で出ていることに驚いたものだ。

辞書を写す。まる写しにする。老後、本当に暇になり、全く何もすることが無くなったら、その水をしりとりする。龍馬記念館から眼前に広がる海を眺めながらそう思った。

令和五年三月二日 記

